

校友会誌



平成20年3月7日

発行

名古屋工学院専門学校校友会
名古屋市熱田区神宮四丁目7-21

<第49号>

「人生雑感」

会長 倉田 豊行

中国、西安の大雁塔の塔壁には、論語の一節である「五十而知天命」が刻まれていると聞きます。私は、現在五十八才。年令相応の境地に一步でも近づけたらと心を新たにしているところです。また、この塔には、玄奘三蔵が天竺から持ち帰った多くの仏典も収められています。仏典に「四苦八苦」という言葉があります。四苦とは、「生病老死」に伴う苦しみをいい、八苦とは①「愛別離苦」愛する人と別れる苦しみ②「怨憎会苦」嫌いな

な人に会わなければならない苦しみ③「求不得苦」欲しいものが手に入らない苦しみ④「五陰盛苦」物質的、精神的に執着する心から生じる苦しみの四苦を加えた八つの苦を表し、最初の四苦は身体に関わる苦しみ、後の四苦は精神的な心に関わるそれを表します。私は、肉親との死別や病気を機に生きることは何かを真剣に考えています。そして、今、為すべきことは何かと自問自答したとき、やはり、今いるこの場所で精一杯努力し、勝利することに尽きるのではないかと痛感しています。かのV・E・フラシクルは、こう言っています。「人生は人知れず、ただ単に蠟燭の酸化現象だけで

終ってはならない」と。自身が燃焼することで、その光を万人のために自ら輝かせてこそ生きがいを感じるものだと思います。只今、臨終との思いに立てば、一刻一刻が大事で、何事にも全力が出せる良き人生となるのではないのでしょうか。故事に「啐啄同時」(そったくどうじ)という言葉があります。孵化の時、雛鳥が卵の中から殻を破って出てくる一方、同時に親鳥も外から殻を突っついて助けるとの意。職場、学校にあってもこの言葉と心を大切にしてこそ、その効果が上がり、一段と成長できるものと確信します。卒業後は、各職場で見事な実証を示されんことを切に願っています。

「一樹百穫」よび

校長 小川 明治

人材育成の大切さは、『一樹百穫』として、たとえられることがあります。教育する人も、受けて学ぶ人も、収める豊かさや恵みの尊さは計り知れなく、その大きさを知る度に私たちは認識を新たにさせられます。

『熱田の森の若みどり』校歌とともに創立から半世紀以上を経て、本校は百周年に向けての確かな歩みを続け、さらなる発展をめざしているところです。

常に移り変わり、起伏の激しい経済・社会の中で、私たちを取り巻く環境は、

厳しさと複雑さの様相を増してきていますが、そのような中でも原点、原則を軸に置けば、正しく明確な指針も見えてくるものと思います。

ある時は変化が緩やかで、ある時は急速であったとしても、常に新しいものが出現し続けているということも事実です。また、変化に伴うリスクよりも、変化しないことによるリスクの方が大きいという場合もあります。

近年の産業構造の変化や技術革新の進展、さらには少子高齢化社会の中で、専門知識や技術を有し、即戦力となる人材の育成は、依然として強く求められています。わが国では社会構造の変遷とともに、価値観の多様化が進んでおり、専修

学校のあり方や果たす役割はますます重要となつてきています。学齢人口の递减という逆風の中にあっても、新しい成長は可能です。

論語に『一以て之を貫く』とありますように、建学の精神を礎として堅固な教育理念と時代に即応した柔軟なビジョンをもって、本校ならではの学びの深さ、ありようを追究し、期待される職能教育を実践していこうと思っております。

校友会の皆様におかれましては、益々のご活躍とご多幸を祈念いたしますとともに、今後ともご支援・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

『在校生の方々へ』

情報工学科

平成15年3月卒 森下 英彦

私は現在、SEとして、ユーザ（顧客）のニーズに合ったサービス全般を「提案」する仕事をしています。

昔から、言葉を略すと間違われる恐れがありますので一言「ここで云つSEとはシステムエンジニア Systems Engineerの略です。コンピュータ関連の事務を、ユーザ個々に「設計」を行い、それを元「環境を「構築」、そして「保守」にいたるまでの全プロセスに携わる仕事です。

他の言葉としてのSEには、効果音 (Sound Effect) の略、方角の南東 southeast の略、セカンドエディション (Second Edition) の略、スペシャルエディション Special Edition の略 (株式会社ソニーアークシオン・デビルメイクライ SEなど)。

また、小田急3000形初代電車の愛称 (Super Express) の略、セレンの元素記号、標準誤差 (Standard error) の略、セブンイレブンの略称、などがあります。

SEを以て思っているのですが仕事ですから専門的な技術や知識が必要なのは当然です。しかし、それ以上に「コミュニケーション

ケーション能力がとても重要だと実感しています。

その点に関して、現在、私の大きな支えとなっているのが学生時代の経験です。

学生時代に見聞きしてきた何気ない経験というのが意外に役に立ち、話題を盛り上げ、仕事をしやすい雰囲気にしてくれる環境を築いてくれます。

若いときに感じた事や考えは、自分の心に深く染み付いていますので、スムーズに話せますし、学生の立場での出来事は罪のない事ばかりです。ですから、対話の潤滑油になるものが多く、話をしていても、私自身がとても楽しくなります。学生の時に、どんなことでも構いませんので、いろいろなことにチャレンジし、多くの経験を積んで下さい。若い今のうちに多くの経験を積む事は、害になることとはなく、すべて糧になることばかりです。



『小説の魅力』

キャリアセンター 尾上 行男

最近、時代小説をよく読む。

小説というものに、目覚めたのは、学生のときであった。級友が読んでいた遠藤周作の「沈黙」を借りたのが、始まりである。それまで小説は、数学の勉強の妨げになると思いついてきた。時間をとられるのが、惜しかったからである。

「沈黙」は、江戸時代初期、キリシタや処刑を受ける日本人信者の姿を見せ、役人が、ロドリゴ神父に棄教を迫る。拷問に耐えきれず神父が踏絵を踏む瞬間、それまで沈黙をしていた神の音が聞こえる。「踏むがいい、お前の足は今、痛いだろう。今日まで私の顔を踏んだ人間達と同じように。だが、その足の痛さだけで、もう充分だ。お前達のその痛さと苦しみを分かち合つために私はいるのだから。」

遠藤周作は、小説を書くにあたって、長崎に何度も取材旅行をし、踏絵を見ている。踏まれて輪郭の薄れたマリア像をみて、棄教した人間の気持ちと自分の弱さを重ね合わせたのだろう。弱者に焦点をあて、神の存在そのものを問うという手法は新鮮な驚きであった。

わかっているのは、歴史上の僅かな点でしかない。これらをもとに、取材した

り、資料を集めたりしながら、構想を練り、創造力を働かせて、物語を作っている。歴史上埋もれたままの人物も小説家によって発掘されている。薩長同盟を成し遂げながら、幕末に暗殺された坂本龍馬も、多くの小説によって、世に知られるようになった。

学生時代、教師が推奨する本は、買つてよく読んだ。先生が薦めるなら、無駄な本に出会う確率は減るから効率的であると独語の先生が言っておられたからである。

「邂逅」という言葉と出会ったのは、亀井勝一郎の「愛と無情について」である。哲学書でありながら、当時のベストセラーであった。出会いは様々である。人や書物との出会いも邂逅である。人との出会いは時間と場所の制約があるが、書物との出会いは、時間や場所を選ばず、好きなときに読めるのがよい。

高電圧工学の三好保憲先生の論文作成のお手伝いをしていた時期がある。校正の打合せのとき、時代小説を読んでおられると聞きした。作家の名前を伺わなかったことが悔やまれるが、最近、時代小説を読むようになった点だけは、尊敬する三好先生に近づいたかと苦笑いしている。



平成十八年度 校友会事業経過報告

年月日 事業内容

- 18・5・26 校友会常任役員会開催
- 18・6・24 校友会支部長総会開催
- 18・7・14 メールマガジン「かもめ」発信
- 18・10・10 校友会常任役員会開催
- 18・10・18 メールマガジン「かもめ」発信
- 18・10・26 校友会奨学生に奨学金貸与(6名)
- 18・11・17 校友会東京支部総会開催
- 18・11・18 校友会沖縄支部総会開催
- 19・1・23 校友会常任役員会開催
- 19・3・8 校友会賞受賞者決定・授与(29名)
- 19・3・8 校友会誌『かもめ』48号発刊
- 19・3・20 校友会常任役員会開催
- 19・3・26 校友会奨学生に奨学金追加貸与(1名)
- 19・4・13 メールマガジン「かもめ」発信
- 19・4・23 校友会誌『かもめ』(1213通)発送

各支部長

および支部連絡先

- 東京支部長 新川 美浩
- 五十六年第一部電波通信学科卒
- 支部担当 池戸 博行
- 支部担当 i.kedo@enpa.ac.jp

大阪支部長 田邊 和哉

四十七年第一部電子計算機科卒
支部担当 岩井 敬典

i.wat@enpa.ac.jp

富山支部長 中島 光憲

四十九年第一部テレビ技術科卒
支部担当 土肥 和紀

toi@enpa.ac.jp

石川支部長 坂本 守

五十一年第一部電子工学科卒
支部担当 佐々木 昇

sasaki@enpa.ac.jp

福井支部長 山崎 利治

四十年第一部電気通信科卒
(活動休止中)

支部担当 松岡 昇

noboru.natsuka@enpa.ac.jp

三重支部長 瀬崎 雄司

三十七年第一部電気通信科卒
支部担当 下里 充

shimosat@enpa.ac.jp

四国支部長 松浦 正昭

三十四年第一部本科卒
支部担当 高須 真人

takasu@enpa.ac.jp

沖縄支部長 上原 盛壽

四十九年第一部電波通信研究科卒
支部担当 堀内 豊

horiuchi@enpa.ac.jp

支部担当連絡先

名古屋工学院専門学校
校友会各支部担当番
電話 052-681-1311(代)

二十七期校友会常任役員

会長	倉田 豊行
副会長	坂田 和義
副会長	池戸 博行
書記	木下 幸弘
会計	平石 清
幹事長	伊与田 茂
幹事	井東 秀樹
幹事	村岡 好久
幹事	根岸 雅巳
幹事	岩井 敬典
幹事	寺町 慶文
幹事	武田 善之
幹事	杉村 博行
幹事	土肥 和紀
幹事	隈元 良一
幹事	松田 栄代
幹事	岩田 正樹
幹事	伊藤 真一
会計監査	内山 長久
会計監査	小川 明治
相談役	小川 孝
参与	
支部担当	
東京支部	池戸 博行
大阪支部	岩井 敬典
三重支部	下里 充
富山支部	土肥 和紀
石川支部	佐々木 昇
石川支部	石黒 誠
福井支部	松岡 昇
四国支部	高須 真人
沖縄支部	堀内 豊

「結婚おめでとう」

「じゅいませす」



次のみなさんは平成十九年一月から平成十九年十二月末までに「祝宴を挙げられました。心からお祝い申し上げます。(敬称略)

柴田 謙 5月26日 挙式・多治見市 (平成15年3月・情報工学科卒)

丸山 大輔 10月6日 挙式・塩尻市 (平成13年3月・電業技術学科卒)

森田 英樹 10月21日 挙式・千代田区 (平成9年3月・電波通信研究科卒)



訃報

昨年十二月十八日、名古屋工学院専門学校副校長校友会幹事長の伊与田茂先生が、病氣のため永眠されました。謹んで「冥福をお祈りいたします。

平成18年度 校友会収支決算書(一般会計の部)

収入の部 合計金額 19,479,522 円
 支出の部 合計金額 19,479,522 円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	10,797,840	会誌発行費	208,857
校友会活動費	2,252,000	特別会計	0
預金利息	5,946	支部結成維持費	1,084,730
校友会館前年度繰越金	284,886	講演会費	0
校友会館立退き料	6,138,850	援助費	0
		慶弔費	4,126
		備品消耗品費	766
		通信交通費	0
		校友会賞費	58,516
		会議費	0
		行事記録費	0
		会長交際費	52,863
		予備費	63,000
		次年度繰越金	18,006,664
合計	19,479,522	合計	19,479,522

平成18年度 校友会収支決算書(特別会計の部)

奨学金特別会計

収入の部 合計金額 34,331,332 円
 支出の部 合計金額 34,331,332 円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	6,119,297	奨学金貸付金	2,501,000
奨学金返金	1,503,020	貸付繰越金	18,802,580
一般会計から	0	次年度繰越金	5,127,752
預金利息	6,435	奨学基金	7,900,000
貸付繰越金	18,802,580		
奨学基金	7,900,000		
合計	34,331,332	合計	34,331,332

学園あれこれ 一一八

昨年は「偽」という文字が世間を横行した。偽装 言訳 責任転嫁
でも、そんなの関係ないのが、真面目に生きる工学院

我が学園は、今まで学ぶ心に真面目に
応えてきた。「マジメにすごい」がキャ
ッチフレーズ。世の中のために今日も骨
身を削って頑張る人達がいる。

青少年に世の中の厳しさを教え、健全
なる精神と身体を育成するのがボーイ
スカウト。皆さんの中にも入団の経験を
お持ちの方もありません。

ボランティアで隊長を務める松岡先
生が、これからのボーイは情報リテラシ
ーにも強くなってはならないと、本校で
パソコン組み立て教室を開いた。

日頃はフィールドで団体行動やロー
プワークなど厳しい訓練をしているが、
これに情報技術を身につければ、最強の
軍団が出来上がるはずだ。世界征服も間
近と、ほくそえむ隊長がそこにいる。

鍛えるといえば、ヒリーズフートキ
ャンプがもつぱらの評判。最近メタボが
気になりだした佐藤先生がこれにはま
ってしまった。

見る見るうちに少林寺拳法で鍛えた
筋肉が脂肪の下から現れる。筋肉は変わ
らず、脂肪だけが無くなった。
周りの人は病気ではないかと心配す

るが、当の本人は体も軽くなってますま
す拳法の技に磨きがかかって絶好調だ
そうだ。

その佐藤先生担当のマイクロマウス
ロボットが毎年競技会で好成绩を挙げ
ている。干支の鼠年に因んで、この正月
にテレビ放送で生チュー継となった。ス
リムになった佐藤先生と学生たちが緊
張しながら出演した。

この時のカメラマンが放送学科の石
黒誠先生の教え子だと聞いた。学生時代
が懐かしいと、感慨深げだった。中継の
様子を見学していたのだが、立派な活躍
ぶりに、とても嬉しい気分になった。
卒業生、頑張れ……。

彼が学生の頃、石黒先生も若かった。
マイクを握ると放さず、自慢の喉でボツ
プスから演歌まで歌いまぐり、取り巻く
女性達をいつもとつとりとさせていた。
ところが、最近の石黒先生はお疲れ気
味ですっかり昔の元気が無くなった。

石黒先生、頑張れ……。
マイクに向かって声を張り上げるの
は歌だけではない。携帯電話に押されて
なりを潜めてはいるがアマチュア無線

に今日も精を出す堀内先生がいる。

かつてアマチュア無線部に所属して
いた卒業生からメールが届いた。東京で
無線のイベントが行われたとき堀内先
生と会ったというのだ。おまけに雑誌の
取材を受け、写真が掲載された。

早速堀内先生に尋ねると、おもむろに
その雑誌を取り出して、ページの右上に
ある小さな写真を指差し、これが私だ、
と満悦。

指に隠れそうな小さな写真を拡大鏡
で確認したが、二十歳くらい若くニヒル
に写っていた。デジタル処理はすごい。
いろんな趣味があるが、ここに意外な
趣味を持つ荒井先生がいる。

「パン作り」に燃えて、燃えすぎてパ
ンを焦がし、毎日残り物を学校に持って
くる。それを楽しみにしている焦げパン
愛好家が、鈴木一司先生・鈴木由美子先
生。おだてる豚は木に登る。のごとく毎
日「おいしい美味しい」を連呼。

図に乗って作り始めて1年が経つが、
もつプロ並みの焦げ方だそうだ。
1号館には、不死身の男がいる。その
名はOギヌマ先生。毎夏、北海道、道東
をバイクで攻めるタフガイだ。

ある日のこと、Oギヌマ先生の肩間に
は、パンソウコウが鼻に向かって、縦に
長く貼られていた。本人曰く、前の晩友
人と飲んでいて、泥酔し、柱で顔面を強
打したらしい。

本人は柱にぶつけた記憶が無く、翌朝
起きたら枕が真っ赤になっていて、本人
は不思議だったそう。

酒は飲んでも飲まれるな。たしなむ程
度が丁度良い。よくある話だが、彼のす
ごいところは、これだけにとどまらない。

真冬でもサーフィンを楽しむOギ
ヌマ先生であるが、荒波に飲まれ、気づ
いたら、テトラポット群の中に打ち上げ
られていたこともあったらしい。これぞ
無傷とは棲まじき生命力。

映画タイ・ハード5.0は、ぜひ、Oギヌ
マ先生主演(スタントマンなし)で制作
してもらいたいところである。

一応本人の名誉のため、お名前は一部
伏せさせてもらったが超人Oギヌマ先
生、ホントに無茶はしないでほしい。

そういえば、昨年度肩を痛めていた下
里先生はその後調子は如何かな。

聞けば、肩を痛めたのは、熟れたイチ
ジクの実を採ろうとして腕を上げた拍
子に突然の激痛に見舞われたのが始ま
りらしい。あれから半年、あれほど苦し
んでいた肩が、ある日突然何のことはな
しに復活したそう。これには本人もび
っくり、嬉しくてたまらない。

年末の大掃除では、寒風ふきすぎで中
張り切って6号館玄関の大きなガラス
を、のびのびと拭いていた。
みなさん、無理をせず穏やかに行きま
しょう。
(優良可)

ちんきとちよ 聞いてはなす 自慢はなす

『ゲーム産業の発展』

皆さんが楽しんでいるコンピュータゲーム。商業的には1971年にアーケード用の「コンピュータスペース」、翌72年には家庭用ゲーム機「オデッセイ」が発売されており、なんと40年近い歴史があります。

「コンピュータスペース」は、世界初のコンピュータゲームとされる「スペースウォー!」を移植したもので、キャラクタのグラフィックデータを基板にダイオードを配置して作られていたそうです。

ちなみに、68年、同ゲームを余剰していたコンピュータに移植するためケン・トンプソン氏がOSから開発してしまったことは有名な話で、開発したOSとその経験がUNIXを生み出したそうです。

このようにして始まったコンピュータゲームですが、その開発者を目

指して工学院には多くの学生が在籍し、プログラム開発やCG制作について学んでいます。

学生の实力は、努力を繰り返すことで向上して行き、卒業学年になるとインターンとしてゲーム会社に出向き業務に就いている学生もいます。長年、工学院の卒業生が通信・電力・情報・エレクトロニクスなどさまざまな産業を発展させており、今日においてはゲーム産業の発展にも同窓生の力が発揮されています。(トリプルクリック)

『卒業生による講話』の実施』

1月15日に株式会社アイエムリンク代表取締役社長 小出郁夫氏(昭和55年電子計算機科卒)より、「IT業界の現状と動向」について講演していただきました。

小出氏自身がIT業界で活躍された28年間の経験をもとに、起業に至るまでの経緯や起業後の展開、今後の展望などについてお話をいただきました。

すべての内容が学生にとって大変興味深いものでした。

IT業界は、世間から注目を浴びているが故に、一部偏ったイメージで捉えられることがあるものの、業界の実情や将来性について分かりやすく説明していただいたことにより、学生にとっての疑問や不安が払拭されたようでした。



小出郁夫氏

また、技術者や開発技術の動向やオフィス開発、求められる人材については、学生の認識の無い部分で

もあり、大いに参考になったようです。

最後に「人生の短期・中長期的な計画の必要性」、「夢の実現方法」をもとに、これから社会人となる学生へエールをいただきました。

学生からは、もっと早くこのお話を聞きたかったという意見もあるほど、大変有意義な講演でした。(IT王子)

『体育祭 上位 独占』

本年度、電気設備学科では体育祭に多くのクラスが入賞しました。

優勝はもちろんのこと参加7クラスの内、5クラスが6位以内となりました。

昨年も1、2、3位を独占しました。特に今年は、競技種目に「xクイズ」を入れて、電気系の独占を阻止しようと下里先生が知恵を絞られたわけですが、ふたを開ければご覧の通りで当方も驚いています。

しかも、「xクイズ」で最高点を叩き出したのがまた、電気系でした。

いや、なんか申し訳ないという気持ちで一杯です。

確かに、一生懸命取り組んではお



りますが、いつ負けるか内心ドキドキしながらやっているんです。縄跳びの指導でも、1年前から担当教員が決められ、勝利を目指して知恵を絞ります。

とは言いましても、たまたま勝たせてもらっているだけで、いつまでもこのようなことが続くなんて考えられません。

つけあがっているなんて毛頭ございませぬ。

謙虚な気持ちで参加させて頂いているだけです。

本当です。本当ですつたら。来年も皆さんお手柔らかに。

(新デジエンマン1)

『電子・デジタル家電分野の話題を二題』

まず、昨年から継承事項でもある就職内定状況からです。

専門学校において、就職内定状況は、学校の評価を決定する大きな要因の一つです。

景気上昇の局面とは言っても、まだまだ厳しい社会情勢の中、該当の全3クラスが、昨年と同様に目標とする100%を達成しました。

それも、年内の達成であり、今年も勿論、目標とする優良企業から多数が内定をいただきました。これらは、誇れるべき結果です。

次に、『工事担任者A1・DD総合種』の認定講座の話題です。

総務省より認可され、平成12年度から継続する認定講座も今年度で8年目に入りました。

この認定講座により、ほぼ6ヶ月間の勉強で情報通信技術者として是非とも欲しい価値ある資格が取得できるよつになりました。

まるで、夢のような話なんです。平成19年度の電子情報学科2年生の全員が、この価値ある資格を取得しました。

今年度も電子情報学科1年生全員が、資格取得を目標に頑張っている

ところです。

ガンバレ！
情報通信技術者を目指して。

(デジデジ)

『マイクログラウス生チュー継』

今年も鼠年。

1月4日、テレビの報道番組の生中継で本校の競技用ロボットであるマイクログラウスが登場しました。

昨年の暮れに、

「来年の干支にちなんで、ネズミ型ロボットの仕組みや実際に迷路を走行するところを紹介させていただきたい」

との取材依頼が入り、放送に向けて準備が始まりました。

これまでも、何度かテレビ放送の取材、収録はありましたが、生中継は初めてです。

まず、最初に行われたのが、学校の敷地に止めた中継車からテレビ塔まで電波が届くかどうかの確認です。

6号館の屋上で電界強度の測定を行い、中継回線が確保されました。

続いて、放送内容の打合せ。

放送形態は、女性アナウンサーによるレポート形式、中継時間約3分

その間に、マイクログラウスの説明、競技の説明、迷路走行。秒単位で

の展開です。失敗は許されませぬ。

マイクログラウスは自分で出した光が迷路の壁に反射して戻ってくるのをセンシングして自分の位置を知り、移動速度や、方向を決めて迷路を駆け抜け、ゴールにたどり着くという200グラム足らずの自律型ロボットです。

自分の出す光以外は全て外乱光といって自律制御の妨げになります。

外乱はまさにマウスの天敵であり、放送用の強い照明に警戒しなければなりません。

うまくいくか、スタッフ一同固唾を呑んで見守ります。

しかしそこは、本年度学生大会第2位の実力を誇る最新型マウス、安定した走りで見事にゴールイン。

その瞬間に、ゴール真上のくすだまが割れ、中から「祝 おめでとう」無事に、生中継終了。

今年も幸先の良いスタートを切り、マイクログラウスは、各種の競技会やイベントで活躍してくれそうです。

(チュー吉)



平成十九年度

母校のおもなでぎょう

昨年は「偽」という文字が多くのメディアに限りなく登場した一年だった。光と影が互いに強調しあうがごとく「偽」という文字に「真」の意味を改めて考えさせられた。個人が、家庭が、地域が、学校が、職場が、日本が、世界が多くの問題を抱えている。「どげんかせんといかん」 誰もがそう思ったのではないだろうか

- 4月10日(火) 第76回入学式
- 4月11日(水) 始業式
- 4月13日(金) ゲーム・CG関連特別講演会「ゲーム会社の仕事研究」/ (株)八ンダイナムコゲームスとの提携を継続し教育の質を高めている。
- 4月15日(日) 情報処理技術者試験
- 4月27日(金) 第一回県人会
- 5月15日(火) ゲーム・CG関連特別講演会「ゲームを作るお仕事とは？」
- 5月18日(金) 第一回・企業説明会
- 5月19日(土) 東海地区卒業クラス教育懇談会
- 5月27日(日) 工事担任者試験
- 6月2日(土) 第一種電気工事士技能試験

- 6月3日(日) 第一種電気工事士筆記試験
- 6月3日(日) 映像音響処理技術者資格認定試験
- 6月7日(木) 第二回企業説明会



- 6月16日(土) 寮對抗球技大会/毎年、寮生の親睦を図るために開かれるポリング大会。会場は名古屋エースレーン。今年の優勝は、明治寮の鈴木伸吾君
- 6月17日(日) 第一・2級CAD利用技術者試験
- 6月22日(金) 中部電気産業育英会就職相談会
- 6月23日(土) 校友会支部長総会

- 6月30日(土) ~ 7月16日(日) 教育懇談会/県人会担当教員が各地区へ赴き保護者との面談を行った。(会場/長野、松本、飯田、那覇、名護、宮古、富山、金沢、福井、長浜、沼津、静岡、浜松、高山、尾鷲)
- 7月10日(火) ~ 17日(月) 前期末試験
- 7月18日(水) ~ 8月7日(火) 第35回ハワイ大学研修/工学院と姉妹校の学生46名が、ハワイ大学に短期留学。
- 7月22日(日) 第一種電気工事士技能試験
- 7月24日(火) 25日(水) 第一級陸上無線技術士試験
- 7月26日(木) 27日(金) 第一級陸上無線技術士試験
- 8月21日(火) 「キッズTシャツのパッケージ」デザインコンテスト(株)シヤムクス主催) / 優秀賞
- 9月1日(土) 第一種・第二種電気主任技術者試験(一次試験)
- 9月2日(日) 第三種電気主任技術者試験
- 9月2日(日) マイクロマウス中部地区初級者大会/優勝
- 木村正一(メカトロニクス研究科) 準優勝
- 福留栄治(メカトロニクス研究科)

- 9月7日(金) 第19回愛知県専修学校各種学校連合会卓球大会/個人戦(男子) 3位
- 矢野翔太(CGデザイン科2年) 団体戦(男子) 準優勝
- 大野司幾(CGクリエイティブ科3年)
- 矢野翔太(CGデザイン科2年)
- 藤澤翔太郎(ロボット科2年A組)
- 9月9日(日) AV情報家電・生活家電エンジニア・アドバイザー試験
- 9月20日(木) ~ 23日(日) 東京ゲームショウ出展/今年のゲームショウはビジネスディを含めて4日間の開催となった。20万人近いゲームファンが来場。本校のブースにも多くの方々立ち寄り、学生作品に夢中でプレイする姿が印象的だった。



9月29日(土) 第一種電気工事士
技能試験

9月30日(日) 第一種電気工事士
筆記試験

10月5日(金) CADアドミニスト
レーター試験

10月6日(土) 東海地区進級クラス
教育懇談会

10月21日(日) 情報処理技術者試験ノ
テクニカルエンジニア(ネットワーク)

試験に5名(県内の専門学校生合格者9
名)、情報セキュリティアドミニストレ
ータ試験に1名(県内の専門学校生合格
者2名)が合格した。

10月23日(火) 体育祭/今年も体育
祭日和 鶴舞競技場に学生達の歓声が響
きわたった。優勝は電気工学科1年B組
(担任:石原先生)



10月27日(土) ゲーム・CG関連特別
講演会「エースコンバット6開発秘話」

講演会「エースコンバット6開発秘話」
/毎年、学園祭の開催に合わせて、実施
されるこの講演会。今回は、発売前のこ
のゲームについて、Xbox360のスペック
を活かしたグラフィックやオンライン
ゲームとしての魅力等をお話しいた
いた。

10月27(土) 28日(日) 学園祭/今
年で37回を迎えた名学祭。テーマは「己
一人ひとりの責任感が問われる事件が
続く日本。いまこそ人として在るべき
「己」の姿を見つめなおそうではないか
といった気持ちをこめて付けられたテ
ーマである。



10月28日(日) マイクロマウス中部
地区大会

11月17日(土) 18日(日) 第28回
全日本マイクログラウス大会/つくば市
国際会議場で開催された。本競技におい

て名古屋工学院専門学校メカトロニク
ス研究科ならびに中部支部に対しニユ
ーテクノロジー賞が、8位の佐藤敏幸先
生には特別賞が授与された。

8位 佐藤敏幸/11位 福留末治メカト
ロニクス研究科/18位 小泉隼人(メ
カトロニクス研究科)/19位 木村正一
(メカトロニクス研究科)



11月18日(日) 第1・2級CAD利
用技術者試験

11月20日(火) 産学連携・日本ソフ
ト販売㈱ 「宛名ガキ大将」の「年

賀状大先生2008」イラスト作成ノ

優秀者/浅井麻希(CGクリエイティブ科2

年)

11月25日(日) 第一種・第二種電気
主任技術者試験(二次試験)

11月25日(日) 工事担任者試験

12月2日(日) 第一種電気工事士
技能試験

12月9日(日) 12月10日(月) 第23
回全国専門学校卓球選手権大会/

男子個人戦8位
矢野翔太(CGデザイン科2年)

男子団体戦3位/Aチーム

矢野翔太(CGデザイン科2年) 他4名

男子団体戦3位/Bチーム

大野司幾(CGクリエイティブ科3年) 他
3名

12月17日(月) 全日本マイクケー
ブル・8字巻コンテスト中部地区大会ノ

優勝 山口憲玲(放送クリエイティブ科
2年)/準優勝 三國拓朗(放送クリエ
イティブ科1年)/第3位 遠藤哲(サ
ウンドライティング科1年)

1月17日(木) 第2回県人会

1月22日(火) 23日(水) 第1級陸
上無線技術士試験

1月24日(木) 25日(金) 第2級陸
上無線技術士試験

1月25日(金) 31日(木) 卒業試験

2月6日(水) 13日(水) 進級試験

3月7日(金) 茶話会

3月9日(日) AV情報家電・生活
家電エンジニア・アドバイザー試験

3月10日(月) 卒業式

3月17日(月) 18日(火) 学園合同
企業説明会

3月22日(土) 23日(日) 第12回
熱田の森ロボット競技会/名古屋国際
会議場

工学院

五、七、五、

七、七

応募総数41首。教職員の投票により、23首を決定し、高得票順に掲載した。なお、多人数の作品を掲載するため、重複者は2首までとした。



教え子に 囲まれ嬉し クラス会
やんちゃなアイツも 立派な親父

長崎 誠

学生と 一期一会の 出会いとて

縁した人は 皆幸福(しあわせ)に

倉田 豊行

卒業生 急に來たつて

名前が出ん「忘れないよ」の

偽装がばれる

鈴木 由美子

駄目な子と言われ続けて 18年
ほんとはいいもの

もってるのにな

大石 建児

学園祭 常は目立たぬ 学生の

生き生き動く 意外な一面

倉田 豊行

学園祭 メタボ忘れて 食べまくる

ダイエットは 明日から

尾上 行男

腰引けて セグウェイ乗った

学園祭 雨も吹き飛び

売り上げ伸びる

木下 幸弘

君たちの 学ぶ心に 応えます

君の笑顔が 永久(とわ)に 続けと

武田 善之

成果上げ 学生のため 現場行く

まじめにすごい 状況しらせよ

荒木 俊行

悔いのない わが人生を 送ろうと

考えてるが るくなく 知恵なし

真野 雅彦

問題点 把握改善 目指すのは

工学院の 永久不滅

尾上 行男

若者は 知らないことが 多すぎる
一から十まで 教えてあげよう!

大石 建児

ハードメニュー これだけやれば

痩せるかも ちよつと 気になる

ビリーの おなか

吉戸 健朗

体育祭 天気気に せず 開催だ

これも何かの 異常気象?

下里 充

体育祭 逆転チャンスと 期待され

×クイズも あつさり一問

鈴木 由美子

逆風を 順風に変える 工学院

君らの 将来 この一戦に あり

長崎 誠

理科離れ でんじろうが

くい止める メディアを 使って

我らも 試さん

木下 幸弘

愛弟子の 卒業式は 感無量

玉ねぎみたいに 目にしみました

武田 善之

夏休み 休みが 休みと 思う日々

合格点に 辛さ 吹き飛ば

小林 真治

大雨で 寒い スタート 名学祭

次の日晴天 売り上げ 3倍

荒井 智博

体育祭 初の失格 担任の

顔つぶしても 頑張り 8位

加藤 穰治

つぎつぎと 出る 期限の

改ざんが モラルよりかは

まず金儲け

真野 雅彦

思い出を 綺麗に 染める 春の色

校舎に つつる 舞い散る 桜

世古 哲也



(11)

【特筆すべき学生】

最近の工学院で特筆する学生のコメントを挙げました。後輩の頑張りを讃えて下さい。

「キッズTシャツのパッケージ」デザインコンペ(株式会社ジャムクス主催)で「優秀賞」を受賞



受賞した山崎紗織さん



受賞作品「キュートクル」

コンペの内容は、十歳前後の子供が着用する「Tシャツのパッケージ」のデザ

インをするというもので、コンセプト、パッケージデザイン、ネーミングなどの販売促進企画のすべてを行うものです。キッズ向け商品のため、「かわいらしさ」と「さわやかさ」を表現したいと思いい、「キュート」と「クル」の言葉より「キュートクル」というネーミングにし、男の子用と女の子用の二種類を作りました。

「全日本マイクケープル・8の字巻コンテスト」地区大会で一位から三位まで、独占!

日本音響家協会が創設30周年を記念して、「全日本マイクケープル・8の字巻コンテスト」が開催されました。このイベントは、マイクケープルを8の字に巻く技法の全国統一と技能向上が目的です。全国六地区で予選が行われ、大阪で決勝大会が行われます。中部地区大会は平成19年12月17日(月)に名古屋市のナディアパーク・青少年文化センターで行われました。

この地区大会に放送クリエイティブ科・サウンドライティング科の1・2年生全員がエントリーし、日頃の練習、授業後の練習、イベントの手伝いなどで鍛えた技が遺憾なく発揮され、次のよう優秀な成績を収めることができました。

優勝 放送クリエイティブ科二年

山口 憲玲

二位 放送クリエイティブ科一年

三國 拓朗

三位 サウンドライティング科一年

遠藤 哲

この地区大会で選ばれた代表選手が、全国大会で日本一を競い、入賞者に「匠」の称号が授与されます。



コンテストの様様

の称号」と「大学院入学資格」が付与されるなど社会的評価も高く、毎年、優秀な学生を送り出しています。

情報総合学科四年の秋野智宏君と小川康祐君においては、国家試験である「基本情報技術者」「ソフトウェア開発技術者」「テクニカルエンジニア(ネットワーク)」「テクニカルエンジニア(データベース)」の四区分に合格するなどすばらしい成果をあげています。その他にも、オラクルマスターやCCNAといったベンダー資格も数多く取得するなど、今年度の情報総合学科を牽引する学生になっています。

なお、秋野君は株式会社中電シーティアイ、小川君はNDSソリューション株式会社内に定しており、それぞれシステムエンジニアとネットワークエンジニアとして活躍が期待されています。

国家試験四区分制覇(情報学科) 情報系の各学科の学生は、将来、IT業界で活躍できるエンジニアを目指し、国家試験およびベンダー資格の合格に向けて、日々研鑽を積んでいます。特に四年課程である情報総合学科は、平成18年3月の卒業生から、「高度専門士



国家試験四区分制覇

『エンジニアと、こだわり』

校友会石川支部長 坂本 守

国家公務員12年、放送局18年。50歳にして自営スタート。

何かに夢中になり熱中してしまつて、人生、思いがけない進路変更が起きてしまつた。

私の場合、中学一年で、金ノコの刃だけで電鍵を作り、モールス信号を勉強してアマチュア無線に熱中。バイクも映画も音楽も、タバコにさえ興味を持つことなく、ひたすら無線に凝り続けて勉強もせず、工業高校の電気科に入学。そこでアマチュア無線クラブを作り、ひたすらハンダゴテを持ちながらCOCO。

高校三年も後半になって進路をどうしようかと悩んでいたとき、工学院から伊藤先生が学校紹介に訪れ、「二技(第一級陸上無線技術士)ならとれるよ」の一言で進学が決まった。

工学院に入学すると、今度は国家試験のための勉強に熱中。毎日5時間くらい勉強を続け、7月には二技に合格。その冬には一技の予備試験と空中線・電波伝搬と法規に合格。そして二年生の7月には一技合格と、かなりのスピードで合格頭がいい訳ではなく、ひたすら、ただひたすら過去の問題集を繰り返して解いた結果だと思っている。

就職は、特にこだわりもなく、親の勧めもあって関東電波監理局に入局、国家公務員となった。今の公務員は恵まれてるのだから、当時の寮は押入れなしの三畳一間、工学院の明治寮より狭かつ

たのには閉口した。

役所というところは、若いときの給料は安い、福利厚生に恵まれており、夜間大学に通っている人が、同期で何人もいた。私も暇だし、夜学の東京理科大学の電気工学科に入学した。そこで大学生として電気工学を勉強し直した訳だが、工学院で2年間勉強していたため、ほとんど勉強する必要がなかったように記憶している。

大学を卒業しても、何も身についていない人が周りに沢山いる。現代は実力本位の社会、学歴より実力である。後輩のみなさんには、できる限り興味のある技術を、多く学んで欲しい。

国家公務員となって12年間が過ぎた頃に身体を壊してしまい、地元石川県に戻った。たまたま開局準備中だった地元の民間FM局に就職した。公務員から民間サラリーマンへの転身だが、放送局の立ち上げに携われたことはラッキーだった。FM局は、TV局のように多部門に分かれておらず、1、2名の技術者が送信技術・制作技術・役所対応、そして番組制作まで、多くの仕事をこなす。今ではインターネットを使った各種サービスも行う必要もあるが、総て技術者の仕事である。だから、その気になって興味を持てれば、色々な技術が身につく。

ち、釣りでは日本一のメールマガジンとなった。

インターネットの方は、仕組みが分かる、当時は国内で取得が大変だった独自ドメイン(.com)の取得が海外では意外と簡単だと判り、ネットショップに必要なソフトウェアや、レンタルサーバーやメール言語を使ったソフトウェアに、のめり込んでいった。

色々やっているうちに、私としてのビジネスモデルが出来上がり、本業ではないが、軽い気持ちで小さなビジネスをスタートさせた。工学院を卒業して20数年後の出来事である。

50歳になった昨年の7月、FM局を退職してインターネット事業を主体とする会社をスタートさせた。あと10年、定年までFM局で仕事を続けることもできたが、先が見えてしまつた人生よりも、何か面白いことが起こるかもしれない人生を選択した。幸いにも、私のあとの技術者として工学院の後輩がFM局に入社した。

インターネット業界は、10年前とは異なり、大企業や大型ベンチャーがネット上でのメガストアを構築し、小企業の参入機会が少なくなってきたので不安がない訳ではない。

しかし、優等生になって、いい高校大学に進学し普通のサラリーマンになるより、そのときどき何かに夢中になり人よりも多くの知識を身につければ、きっと楽しい人生が送れると思う。在学生のみならず専門の技術を十分に身につけて卒業して欲しい。

編集後記

「人間」は、母なる海から生まれたと云われている。

血や涙がしょっぱいのも、体毛のキューティクルがウロコ状になっているのも、その理由の片鱗だと聞いた。生き物の進化を考えれば、人間も海から生まれたものだと思える。しかし、40億年前の生命誕生を真に理解するのは難しい。

人間には父母があり、そのまた父母が存在する。さらに年月を遡って、46億歳の地球を1年とすると、人類の存在期間は22分58秒でしかない。

海から生まれた生命
地球から生まれた生命
宇宙から生まれた生命

所詮、人間は宇宙に比べて、ちっぽけな存在でしかない。しかし人間がいなければ、宇宙そのものの意義も無く、最も大切なものが人間である事も理解できよう。

仏教では「無量寿」という言葉を使う。命そのものを受け入れる事により、総てが見えてくる。

卒業生の皆様、機会があれば母校に立ち寄り、雄大な話でもしませんか。

(善)

無量寿